

中小企業必見！データで見る知的財産の財務的メリットと注意点

大規模な企業データ分析から、中小・中堅企業の知的財産（知財）保有と財務パフォーマンスには明確な関係があることが判明。
知財は収益性や安定性を高める一方、短期的な効率性や成長性とはトレードオフの関係にあります。

知的財産保有の強力なメリット



収益性が高い

「売上高総利益率」が有意に高く、製品・サービスの差別化に貢献している。



生産性が高い

「売上高付加価値率」が有意に高く、企業の「稼ぐ力」の源泉となっている。



財務が安定している

「自己資本比率」が有意に高く、健全な財務基盤を持つ企業が多い。

知っておくべきトレードオフと時間軸



資産効率低下する傾向

「総資産回転率」が低く、研究開発への先行投資が影響している可能性がある。



短期的な成長とは直結しない

「売上高成長率」との明確な相関は見られず、効果発現には時間がかかる。

効果発現の目安は約5年

専門家は、知財投資が利益に結びつくまでにはタイムラグがあると指摘。

